

研究タイトル:

## 日中におけるデューイ思想の受容



氏名:	任 雅楠 YANAN REN	E-mail:	r.yanan@maizuru-ct.ac.jp
職名:	助教	学位:	博士(文学)
所属学会・協会:	教育哲学会, 日本デューイ学会		
キーワード:	デューイ教育思想, プラグマティズム, 近代中国教育思想, 中国哲学		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育哲学に関すること</li> <li>・英語・中国語教育</li> </ul>		

### 研究内容: 日中におけるデューイ思想の受容と展望に関する考察

私は日本と中国におけるデューイ思想の受容と展望について研究しています。主に大正期と中華民国期におけるデューイ思想の受容に焦点を当てて考察しています。

ジョン・デューイ(John Dewey: 1859年～1952年)はアメリカの哲学者であり、プラグマティズムの代表者として知られています。彼の教育思想は世界中で数多くの国に受容され、日本と中国にも多大な影響を与えました。

これまでの研究の中で、大正期と中華民国期にデューイの思想を紹介・主導した人物(谷本富(1867年～1946年)、蔡元培(1868年～1940年)、陶行知(1891年～1946年)、胡適(1891年～1962年))について、思想形成の面から詳細に研究しました。それに加えて、デューイ思想が受容される際に、日本や中国の文化といかに融合し、受容されるのかについての実態も考察してきました。同じく儒教思想を基盤にもつ日本と中国が、プラグマティズムに位置づけられるデューイ思想をいかに移入し、教育現場に応用しようとしたのかについて解明しました。これらを明らかにした上で、今日の両国の教育のあり方を、デューイの思想との関係とデューイ思想の受容史との関係で考察し、両国が抱える教育問題に対する解決策を提示しました。

現在は、これまでの研究内容を踏まえて、近代日中におけるデューイ思想の受容についてより一層深く考察しています。とりわけ、デューイの英文の原著作をもとに、デューイ思想の理論面と実践面をより一層深く研究してみます。加えて、谷本富、蔡元培、陶行知と胡適の思想の現代的な意義にも絞って考察していきたいと考えます。

教育哲学、中国思想に興味を持たれる方々にお手伝いできるのではないかと思います。

### 提供可能な設備・機器:

#### 名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	

エネルギー

環境

材料

生産・製造

計測・制御

情報・通信

防災減災

医療福祉・バイオ

文化・都市計画